

第10回科学の甲子園ジュニア全国大会山形県2次予選開催要項

1 目 的

県内中学生が理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成する。

なお、本選考により県代表となったチームは、第10回科学の甲子園ジュニア全国大会への出場権を得るものとする。

2 開催体制

主 催	山形県教育委員会
共 催	国立大学法人山形大学
後 援	県中学校長会 県中学校文化連盟 県中学校教育研究会理科部会
主 管	山形県教育庁義務教育課

3 大会期日 令和4年9月25日（日）

4 大会会場 山形大学（山形市小白川町1-4-12）

5 2次予選当日の日程

9:30~10:00	受 付
10:00~10:20	開会式
10:30~12:00	実技競技（実験系・総合系）
12:10~12:30	閉会式（アンケート記入を含む）
	終 了（生徒・引率者解散）
13:30~15:30	代表チーム選考会（採点を含む）

6 出場チーム

科学の甲子園ジュニア全国大会開催要項に準じる。

1次予選を通過した5チームが出場できる。

(1) 出場チームは中学1・2年生の生徒とする。

(2) 出場チームの構成員は6名とする。複数校の生徒で構成される合同チームを認める。

7 競技の種類

2次予選は実技競技で行う。実技競技は実験系（実験、観察等を行うもの）及び総合系（科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を用いて課題を解決する力を競うもの）を行う。

8 競技形式

- (1) 実験系の実技競技と総合系の実技競技を同時に出題する。
- (2) 実験系と総合系の2つの問題に6人のチームで取り組む。この際、チーム内で問題を分担・相談しながら解答する。
- (3) 競技時間は90分程度（問題の説明10分を含む）とする。

9 参加登録

1次予選を通過した5チームは、別添の参加登録要項を参照の上、「参加登録届」を以下によりデータ及び郵送にて提出すること。

- (1) 提出締切 令和4年9月9日（金）必着
提出先

10 選考結果

- (1) 2次予選終了後、別添選考要項に基づき代表チーム選考会を行う。
- (2) 選考結果については、令和4年10月7日（金）までに、2次予選参加校へ通知する。
- (3) 優勝チームは、山形県代表チームとして令和4年12月2日（金）から12月4日（日）に開催される全国大会への出場権を得る。

11 代表強化

科学の甲子園ジュニア全国大会に出場する県代表チームの強化を目的として、県教育委員会は、山形大学等において2回（予定）の強化研修会を開催する。県代表に選ばれたチームは本研修会に参加すること。なお、本研修会の参加対象は、県2次予選に参加したすべてのチームとし、日程や研修会場等の詳細については、県代表チームの所属校と確認の上、別途連絡する。

12 その他

- (1) 2次予選には、原則として教員1名以上が引率することとする。引率教員1名分及び生徒の旅費は、主催者が負担する。
- (2) 合同チームにおいて引率を他校教員等に依頼する場合は、引率教員等の所属長あてに引率依頼を送付し、承諾を得ること。
- (3) 参加生徒については、主催者側で当日損害保険に加入する。
- (4) 全国大会出場にかかる県代表チーム派遣費用等については、原則としてJSTが負担する。
- (5) 引率教員に競技役員を依頼することがあります。その際にご協力をお願いします。